



株式会社アイ・エム・シー・エイ様に対する

『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス』第1回モニタリングの実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、2024年8月28日（水）に実行した九条支店取引先 株式会社アイ・エム・シー・エイ（大阪府大阪市港区弁天 代表取締役社長 宮島 太郎）向け『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス^{（※1）}』に対し、1回目のモニタリングを実施しましたのでお知らせします。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスにおけるモニタリングでは、融資実行時に発行したポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書に掲げる、お客さまのマテリアリティ（重要課題）を解決するための取組方針と、その達成度合いを測定する KPI（重要目標達成指標）に対し、進捗状況の確認と、KPI 達成に向けた各種支援を実施します。本件モニタリングを通じて、お客さまのサステナブル経営を一層推進します。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまの SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

（※1）お客さまの企業活動が経済・社会・環境にもたらすインパクトを包括的に評価し、ポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの緩和に向けた取組みを支援する融資。当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制については、株式会社格付投資情報センターより、国連環境計画・金融イニシアティブ『UNEP FI』が制定したポジティブ・インパクト・ファイナンス原則に適合している旨のセカンドオピニオンを取得している。

記

■企業の概要

会社名	株式会社アイ・エム・シー・エイ
所在地	大阪府大阪市港区弁天1丁目2番1号
業種	宝飾品小売業

【サステナブルな取組み】

当社は地域のプロスポーツチームへの協賛や自治体・学校への寄付を行うなど、社会貢献活動を行ってきました。また、働きやすい職場環境構築やオレンジリボン活動を通じた児童福祉活動への協力を行い、サステナビリティ経営の幅を広げています。この活動をさらに加速させ、当社が提供する宝石・サービスを通じて社会に対しどのような価値を創出できるかを常に考察し、日々の業務の中にもサステナビリティの理念を浸透させていきます。

※株式会社アイ・エム・シー・エイの「ポジティブ・インパクト・ファイナンス第1回モニタリング報告書」については、別紙をご参照ください。

以 上

株式会社アイ・エム・シー・エイ

ポジティブインパクトファイナンス

第1回モニタリング報告書



I M C A



2025年9月4日



いい出会い ふくらむ未来
百十四銀行

目次

1. 株式会社アイ・エム・シー・エイの企業概要.....	1
2. 目標達成に向けた進捗状況	2
3. 総評.....	4

1. 株式会社アイ・エム・シー・エイの企業概要

企業名	株式会社アイ・エム・シー・エイ
設立	1971年9月
代表者名	代表取締役 社長 宮島太郎
資本金	5,000万円
従業員	65人（2025年7月31日時点）
売上高	35億円（2024年9月期）
事業拠点	本社 〒552-0007 大阪府大阪市港区弁天1-2-1 専用工房 〒400-0041 山梨県甲府市上石田4-8-23
主な事業内容	宝石・貴金属の輸入・制作・卸業・販売 不動産賃貸業 ホテル運営事業 飲食店運営事業（IMCA Hotel内 鉄板焼きレストラン宝希花 BAR MIURO）
自社ブランド	ALISIA CALAR（アリシア カラー） 商標登録第4990608号



2. 目標達成に向けた進捗状況

項目	内容
インパクト	環境的側面において、NIを緩和
内容・対応方針	社用車のエコカー（EV車もしくはHV車）比率を高める。
KPI	2027/9期までに社用車のエコカー比率を70%にする。 （2023/9期:50%）
KPIの進捗状況	2024年度実績：50% 車両の入替えが発生せず、昨年と同数値となった。 今後の車両購入時には、ハイブリッド車等のエコカー導入にて対応していく方針

項目	内容
インパクト	環境的側面において、NIを緩和
内容・対応方針	DX、ペーパーレス等により廃棄物量を削減する。
KPI	2027/9期までに全社の紙使用量を2023/9期比20%削減する。 （2023/9期:約200kg）
KPIの進捗状況	2024年度実績：約200kg（2023/9期比：0%削減） 紙使用量は削減できなかったものの、提案書等の電子化システムを構築しすでに導入済み。 今後については、営業時に使用する書面は全て電子化が可能となっており、大幅に紙使用量を削減できる見通し。

項目	内容
インパクト	社会的側面において、PIを拡大
内容・対応方針	在庫の充実や社員のスキル向上を通じ、顧客の満足度を高める。
KPI	2027/9期までに宝石小売業の売上高55億円とする。 （2023/9期:約38億円）
KPIの進捗状況	2024年度実績：35億円 営業方法の改善・効率化に重点を置いた結果、宝石小売業の全体売上高は、前期比で減少した。 2025/9期は、デザイン性等の更なる商品付加価値を加えた営業展開により、販売量は増加傾向にある。

項目	内容
インパクト	社会的側面においてPIを拡大
内容・対応方針	ホテル・飲食店ゲストに地域の歴史や日本文化・風土をより実感させる。
KPI	2027/9期までにホテル年間宿泊者数を200名以上にする。 (一般向けの予約開始は2025/9期以降を予定)
KPIの進捗状況	2024年度実績：500人以上を達成 商品購入顧客の宿泊者増加に加え、地域スポーツチームへの宿泊施設提供協力を実施したことで、初年度で目標を上回る結果となった。 今後についても、お客さまの満足度向上や地域貢献に資する対応を行っていく。

項目	内容
インパクト	社会的側面においてPIを拡大、NIを緩和
内容・対応方針	社員の営業・接客スキルを高め、業務成績を向上させる。 女性社員の営業リーダーへの昇格希望が出しやすいよう、研修や面談にて啓発活動を行う。
KPI	①2027/9期までに平均年収を2023/9期比20%上昇させる。 ②2027/9期までに営業リーダーにおける女性比率を30%とする。(2023/9期:13%)
KPIの進捗状況	2024年度実績：① 5.3%、② 10.0% ①従業員のモチベーションアップのため、会社貢献度の高い社員に対し十分なインセンティブを与えたことで、平均年収は+5.3%増加した。 ②比率としては2023/9期対比にて減少するも、2024/9期は新たな営業リーダーが誕生した。今後も女性営業職の育成につとめ、比率向上につとめていく。

3. 総評

早期達成見込みの目標もあり、インパクトへの取組みは全体的に活発である。

エコカー比率については、車輛の入替えが発生しなかったため前期と同水準で推移するも、今後の車輛購入時には、ハイブリッド車等のエコカーを購入予定であり、2027年9月期までに70%達成が見込まれる。

紙の使用量削減については、前期と同水準で推移するも、営業時に使用する提案書等の電子化を開始していることや社内システムのICT化を検討していることより、今後の大幅な削減が見込まれる。

宝石小売業の売上高については、2024年度より営業方法を効率化に重点を置いた営業方針へ変更したことにより全体の売上は前期比で減少するも、2025年度以降は、顧客ニーズに応えるべく、デザイン性等の更なる付加価値を加えた新商品を販売開始しており、新規顧客及び販売量は増加している。

ホテル年間宿泊者数については、2024年度実績にて目標値を大幅に上回る数値を達成している。地域スポーツチームへの宿泊施設提供協力を実施したことで、初年度で目標を上回る結果となった。今後についても、お客さまの満足度向上や地域貢献に資するサービスを展開していく方針。

雇用面については、平均年収、営業リーダーの女性比率ともに未達成の状況ではあるものの、従業員のモチベーションアップの施策として、有給休暇取得の推進やインセンティブの支給等を実施。また、女性営業職の職場環境の整備に注力しており、女性の育児休暇からの復帰率は100%を達成済み。今後も、従業員の働きやすさ改善に取り組んでいくことで、当社の事業規模を拡大し、平均年収及び営業リーダーの女性比率の向上をめざす。

百十四銀行も、エコカー導入や社内のICT化を提案できる業者等の紹介により、当社の取組みを支援していく。